

# 観光振興策と事業規模

---

令和元年11月8日

第2回 札幌市観光振興に係る新たな財源に関する調査検討会議

# I 今後の観光振興の方向性

## (1) 第1回検討会議における主な意見

### ■ 「今後取り組むべき観光振興の方向性」についての意見

- 北海道新幹線札幌延伸や冬季オリンピック・パラリンピックの誘致に向かい、札幌市の観光をどう組み立てていくのかという視点は必要。
- 地域間競争が激しくなる中で、地域の魅力づくりや環境整備への先を見据えた投資が非常に重要である。
- 今後取り組むべき観光振興の方向性として、「魅力の向上」、「受入環境の充実」、「持続可能な観光振興」は、この先も観光産業を持続させるという観点で妥当。
- 今後必要となる主要な取組内容やその規模について十分に議論すべき。
- 観光客のニーズを捉えるためにも、事業者の現場の声を聞いて取り組むべき。
- 既に進めている施策の全体像の整理も必要。

### ■ 「新たな財源の在り方」についての意見

- 入湯税が観光振興に使われているという実感がないため、観光目的税も同様になるのではないかという懸念がある。
- 観光税(宿泊税)の目的や用途が明確にならないのであれば増税は許容できない。
- 消費税増税で景気減退が予測される。消費者にとって観光税(宿泊税)の負担が重い場合、消費に相当の影響がある。
- 人口減少と高齢化により社会保障費が高み、税収が減少していく中で、観光によって街の機能を維持していくという長期的な視点で、安定的な税収をどのように確保するのかを考える必要がある。
- 税の使途が不透明であると不信感につながるため、新しい税を導入するのであれば、その目的が観光振興に使われることを明確にするべき。
- 新たな財源を税とするならば、徴収義務者となる宿泊事業者の負担も十分に検討していく必要がある。
- 宿泊税と入湯税との兼ね合いについては、一定の調整も考えていく必要があるのではないか。
- 事業者が宿泊者に説明した際に理解していただけるような仕組みづくりも必要。
- 北海道が宿泊税を導入した場合、市内で徴収された税金のほとんどが他の地域で使われるのではないかという懸念がある。

## (2) 第1回検討会議のまとめ

今後取り組むべき観光振興の方向性について確認した。

より具体的な施策内容や規模をイメージできるように整理すること。

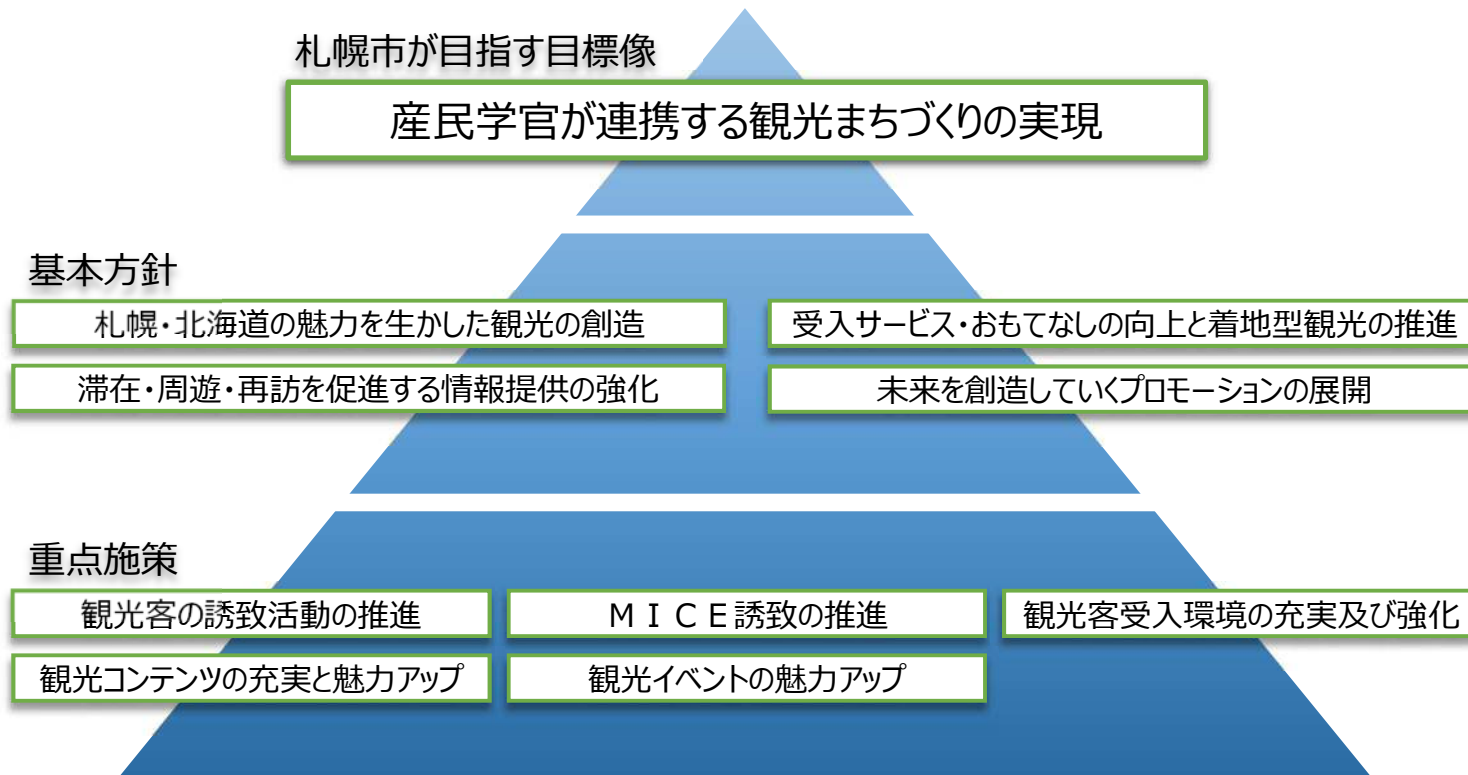
## II 札幌市の観光振興の取組

### (1) 現在の観光振興の取組

#### ■ 札幌市観光まちづくりプラン（平成29年度改定）

##### 【プランの目的】

1. 札幌の特性を備えた魅力資源を十分に活用し、札幌の観光コンテンツの充実・強化と付加価値の向上を図ることにより、市民や来訪者にとって魅力的なまちづくりを推進する。
2. 交流人口の増加に伴う観光関連収入の確保によって、観光を契機とした札幌・北海道内の経済循環の実現と外貨獲得を実現するための基本的な方向性や重点的に進めるべき取組などを提示する。
3. プラン推進のプロセスを通して、観光の担い手となる多様な主体同士の結びつきを強め、観光まちづくりの展開において横断的な連携を図ることができるような体制と仕組みを構築する。



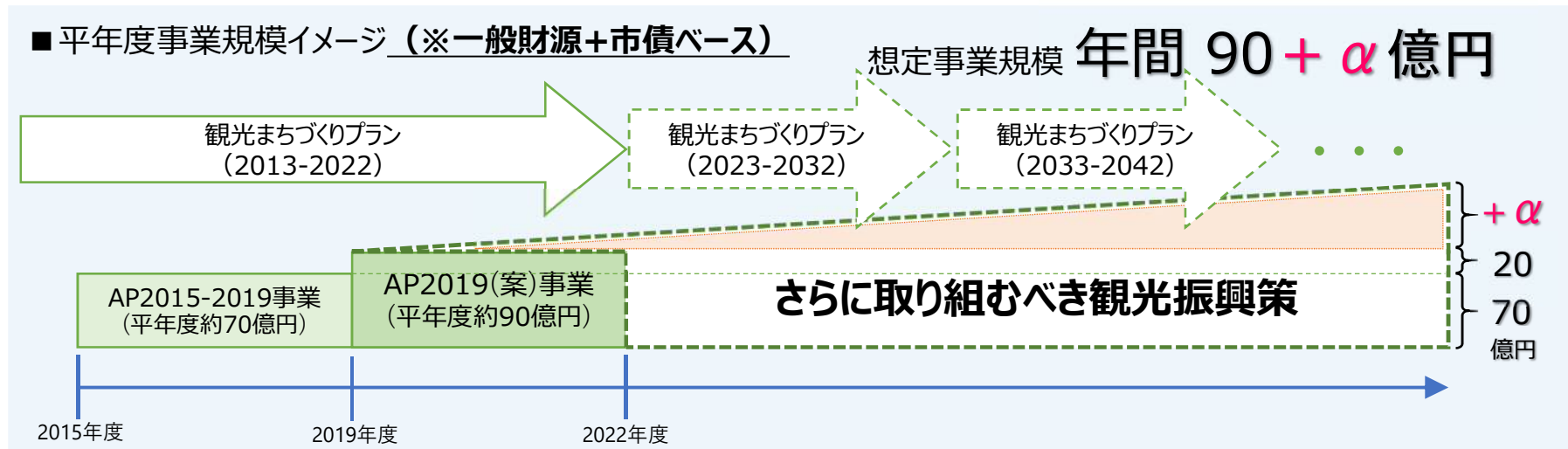
## II 札幌市の観光振興の取組

### (2) 財源の必要性

- 観光は、様々な業種に経済波及効果をもたらし、札幌経済を牽引する産業として重要な役割を担っている。
- 今後もインバウンドをはじめとした**観光客の増加**と、**観光消費の拡大**を目指していく。
- 観光資源の魅力向上や受入環境の充実、持続可能な観光振興への継続的な投資が必要。

**中長期的な視点から、安定的な財源の確保が必要**

新たな財源の負担の在り方として、受益と負担の観点から検討する必要がある。



《参考》札幌市の観光関連予算（一般財源+市債ベース）は、2009年度15.6億円、2014年度67.9億円、2019年度70.7億円であり、10年前と比較すると約4.5倍となっている。

## II 札幌市の観光振興の取組

### (3) 今後4年間の観光振興の取組

札幌市が取り組む2022年までの観光振興策は「アクションプラン2019(案)」で整理している。  
観光振興策の計画事業費は4か年で約430億円であり、1年平均は約110億円規模。  
(一般財源+市債ベース 4か年：約340億円 1年平均：約90億円)

観光まちづくりプラン 重点施策	具体的事業	計画事業費	計画事業費 (一財+市債)
観光コンテンツの 充実と魅力アップ	都心における冬のアクティビティ創出事業／スノーリゾート推進事業／夜景・夜間観光推進強 化事業／アドベンチャーツーリズム推進事業／定山渓集客交流拠点整備事業／定山渓地 区魅力アップ事業／観光資源発掘・魅力創出事業 など	69.3億円	58.8億円
観光イベントの 魅力アップ	さっぽろ雪まつり事業／観光イベントにおけるインバウンド対応強化事業／さっぽろホワイトイル ミネーション事業／さっぽろオータムフェスト事業 など	23.9億円	23.9億円
観光客受入環境の 充実及び強化	受入環境整備事業／富裕層受入環境整備事業／総合案内板設置・運営事業／市内周 遊交通推進事業／宿泊施設非常用自家発電設備整備補助事業／訪日外国人旅行者 等受入環境整備事業 など	222.5億円	152.7億円
観光客の誘致活動 の推進	国際観光誘致事業／国内観光振興事業／冬季オリンピック・パラリンピック招致事業／都 心部クロスカントリースキー大会実証実験事業／国際スポーツ大会等誘致促進事業 など	26.3億円	20.3億円
M I C E 誘致 の推進	札幌M I C E 総合戦略（2020～2029）の策定／コンベンションビューロー運営費補助事 業／M I C E 推進事業の拡充／新M I C E 施設整備事業 など	91.2億円	88.4億円
合計		433.1億円	344.2億円

## II 札幌市の観光振興の取組

### (4) さらに取り組むべき観光振興策

旅行動態の変化や観光客の属性・ニーズの多様化に対応しながら、長期滞在の促進により観光消費を最大化するために、(3)で掲げた事業に加え、その発展・拡充が必要である。

### 戦略目標

## 長期滞在の促進による観光消費の最大化

重点推進項目

#### 観光資源の魅力向上

滞在の長期化を促す観光魅力づくり

1. 夜間観光等の推進
2. 都市型スノーリゾートの形成
3. 定山溪エリアの魅力向上

札幌ならではの観光資源の磨き上げ

4. 観光イベントの魅力向上
5. 文化資源の有効活用

札幌型の新たなツーリズムの開発

6. 札幌の地域資源を活用したツーリズムの推進
7. 様々な観光資源の連携による周遊促進
8. 「観光都市・札幌」ならではのMICEの推進

#### 受入環境の充実

滞在時の快適性を高める環境づくり

1. 市内周遊や消費を促す機能強化
2. 付加価値の高い宿泊環境づくり
3. 周遊を促進させる交通環境の改善

滞在時の観光情報の発信力向上

4. ICTを活用した情報発信の推進
5. 観光案内所の機能強化

滞在時の安全・安心の確保

6. 災害に強い観光まちづくりの推進
7. ユニバーサルデザインの推進

#### 持続可能な観光振興

持続可能な観光マネジメントの推進

1. 観光統計の充実と活用
2. 観光マネジメントの推進基盤の構築

オーバーツーリズムへの備え

3. 街の混雑の緩和
4. 観光振興に関する市民理解の促進

裾野の広い観光産業の更なる振興

5. 観光産業を担う人材の育成
6. 観光業の成長が地域に還元される仕組みづくり

## II 札幌市の観光振興の取組

### 《参考》中期財政フレーム2019・長期的な財政見通し（一般会計）

社会保障費や公共施設の更新需要が増加する一方で、それに見合う税収等の一般財源の伸びが見込まれないなど、限られた財源の中で今後の行政需要に対応していかなければならない。

（単位：億円）

		2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	期間合計 (R1-R4)	【参考】 2023(R5)	期間合計 (R1-R5)	2028(R10)	2033(R15)
歳入	一般財源	5,535	5,562	5,574	5,585	22,256	5,597	27,853	5,660	5,710
	国・道支出金	2,911	2,969	3,034	3,103	12,017	3,184	15,200	3,140	3,066
	市債	552	674	621	661	2,507	827	3,334	703	558
	その他	1,211	1,224	1,196	1,183	4,814	1,154	5,968	1,123	1,108
	基金活用額	18	45	156	101	320	168	488	74	65
	合計	10,227	10,474	10,580	10,634	41,914	10,930	52,844	10,701	10,507
歳出	義務的経費	5,643	5,773	5,840	5,912	23,168	5,982	29,150	6,029	6,074
	職員費	1,566	1,580	1,560	1,561	6,267	1,545	7,813	1,493	1,507
	公債費	869	897	910	917	3,593	939	4,533	1,059	1,108
	扶助費	3,207	3,296	3,370	3,434	13,307	3,498	16,805	3,477	3,459
	他会計繰出金	1,062	1,073	1,085	1,104	4,323	1,117	5,440	1,080	1,104
	建設事業費	1,034	1,149	1,114	1,195	4,493	1,445	5,938	1,267	999
	その他事業費	2,489	2,478	2,540	2,423	9,930	2,385	12,316	2,324	2,329
	合計 (計画事業費)	10,227 (2,132)	10,474 (2,249)	10,580 (2,290)	10,634 (2,258)	41,914 (8,928)	10,930 (2,472)	52,844 (11,400)	10,701	10,507
年度末基金残高	657	659	635	584	-	466	-	376	306	
市債残高(一般会計)	11,103	11,397	11,631	11,895	-	12,288	-	13,795	13,817	

《参考》長期財政見通し